



R/C IMPRESSION Custom

PHOTO/K.OHTANI, S.MAYUMI TEXT/Y.MATSUDA
取材協力/クールライド TEL03-5996-1465 <https://www.cooride.com/>



1.NAG製ダンパーシステムにイニシャルアジャスターも装備
2.ファーストバックのリヤバッグはスマートな見た目が秀逸。グリップバーはドイツのデモタイプ 3/4.バックステップ、オイルフィルターキャップ、レバー&レバーガード、バーエンドなどはイタリアのライテック製
5.GPRスタビライザーはスムーズな動作が特長。減衰力の調整も可能だ 6.同じイタリアのエポテック製クリックリリース・タンクキャップは、構成パーツのカラーを選ぶことが可能
7.スライダー、エンジンガード、ラジエターホース等々、多彩なパーツをラインナップ

多 多彩なパーツとカラーコーディネート。イネットが目引くクールライドのMT-07は、その走りも際立っていた。気軽に操れるMT-07の本質を維持しながらも、とことんレーシーなのだ。

レバーで、ヤル気になったライダーに、明確な剛性感と精密な操作感を与えてくれるから、さらにペイスを上げたくなってしまうのだ。

何より、英国スコピオンのフルエキゾーストシステムが並列2気筒エンジンのファイリングを激変させている。極低速からレスポンスがよく、4000rpmあたりの中速から太いトルクが立ち上がる。ピークパワーに向けての伸び感も強く、思わずヤル気になる。そしてバックトルクも気持ちいい。エンブレが適度に緩和されていて、歯切れのいいリズムをつくってくれるのでコーナーエントリーがしやすく、走るペースは自然と上がっていく。そこで生きてくるのがライテック製のステップや



スコピオン製エキゾーストシステムが、MT-07の並列2気筒エンジンを極めてレーシーに。神経質さはなく、ダイナミックに操れるのもうれしい

Case 5 COORIDE [YAMAHA MT-07]

MT-07のレーシーな潜在能力を存分に楽しめる

本来は、装着されているさまざまなパーツを紹介するべきかもしれないが、クールライドが製作した車両は、MT-07のポテンシャルを思いきり引き出していた。レーシーなエンジンフィールと安定した車体が、乗り手のヤル気をそそる!